

## 第9部

# インフラ・住宅・環境



### 第1章 道路・運輸

- 162 道路(道路実延長と道路舗装率)
- 163 鉄道
- 164 バス
- 165 公共交通機関におけるバリアフリー化



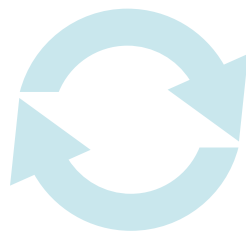
### 第2章 住宅

- 166 住宅の種類
- 167 1住宅当たり居住室数
- 168 1住宅当たり延べ面積(持ち家/借家)
- 169 着工新設住宅数
- 170 空き家数



### 第3章 環境

- 171 都市公園
- 172 自然公園利用者数
- 173 公共下水道の普及率
- 174 ごみ排出量
- 175 ごみのリサイクル率
- 176 最終エネルギー消費量
- 177 再生可能エネルギーの導入実績
- 179 奈良県の気候の変化





## 都市公園

都市公園面積18.35km<sup>2</sup>都市計画区域内人口1人当たりの面積14.13m<sup>2</sup>

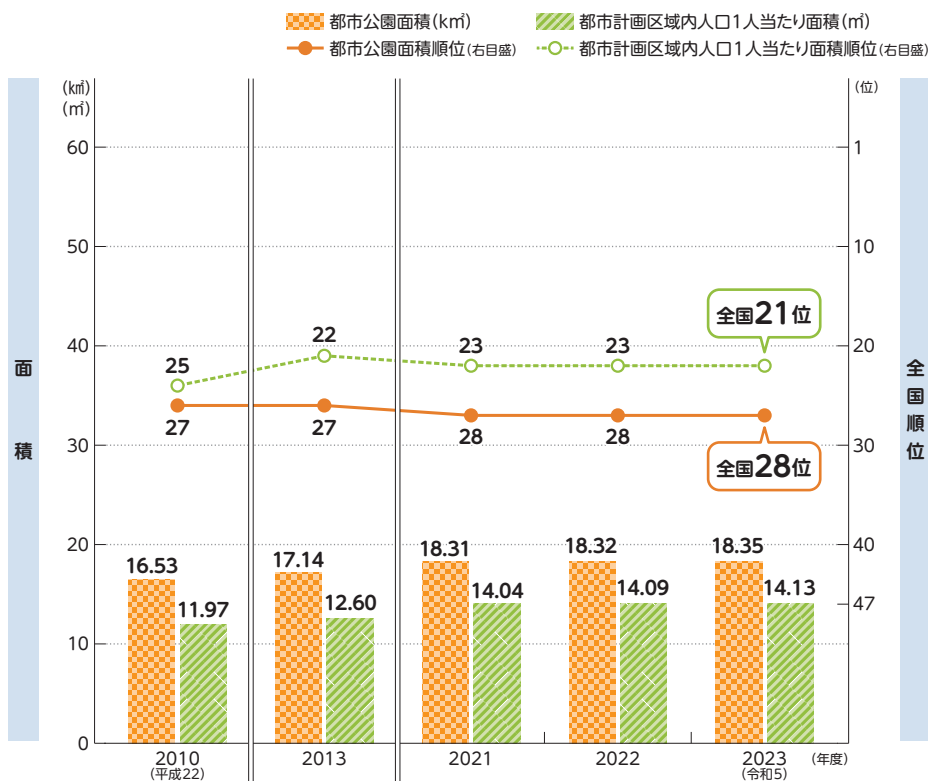
2023(R5)年度末の都市公園面積は18.35km<sup>2</sup>で全国28位、都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は14.13m<sup>2</sup>で全国21位となっています。

都市公園等整備現況調査結果によると、都市公園面積は2010(H22)年度末で16.53km<sup>2</sup>(27位)から2013(H25)年度末で17.14km<sup>2</sup>(27位)、2021(R3)年度末で18.31km<sup>2</sup>(28位)、2022(R4)年度末で18.32km<sup>2</sup>(28位)、2023(R5)年度末で18.35km<sup>2</sup>(28位)と増加しています。

都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は、2010(H22)年度末は11.97m<sup>2</sup>(25位)から2013(H25)年度末で12.60m<sup>2</sup>(22位)、2021(R3)年度末で14.04m<sup>2</sup>(23位)、2022(R4)年度末で14.09m<sup>2</sup>(23位)、2023(R5)年度末で14.13m<sup>2</sup>(21位)と増加しています。

## 都市公園面積の推移

資料：国土交通省「都市公園等整備現況調査」





## 自然公園利用者数

### 1ha当たりの利用者数は、全国平均を上回る



1ha当たりの利用者数は、2016(H28)年が210人、2021(R3)年が139人、2023(R5)年が173人で、いずれも全国平均を上回っています。

2023(R5)年の自然公園1ha当たりの利用者数は、173人と全国平均の137人を36人上回っています。また、自然公園の利用者数は、新型コロナウイルスの影響により一時的に減少しましたが、その後、回復傾向にあります。

- 自然公園…優れた自然の風景地の保護及び利用の増進を図るために指定された公園。奈良県内には8つの自然公園(国立公園【吉野熊野】、国定公園【金剛生駒紀泉・高野龍神・大和青垣・室生赤目青山】、県立自然公園【矢田・吉野川津風呂・月ヶ瀬神野山】)がある。

### 自然公園1ha当たりの利用者数の推移

資料：環境省「自然公園等利用者数調」





## 公共下水道の普及率

### 下水道普及率は83.8%



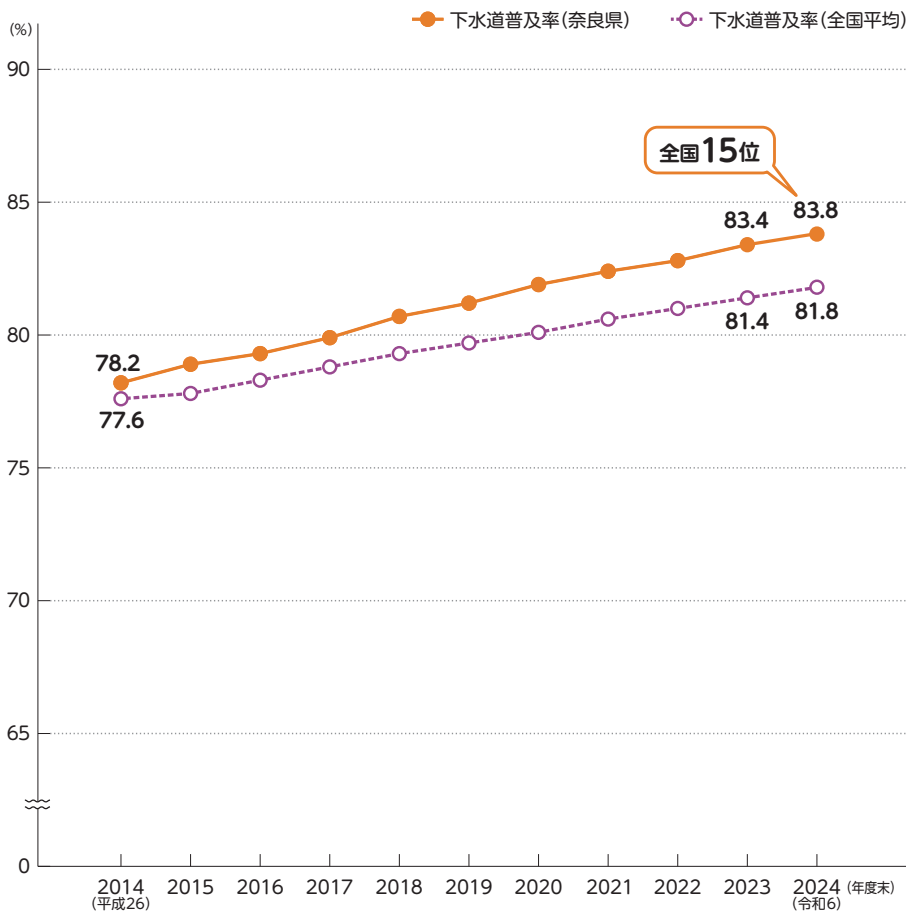
2024(R6)年度末の下水道普及率は83.8%で前年度の83.4%より0.4ポイント上昇し、全国15位となっています。

2014(H26)年度末と比べると、普及率は78.2%より5.6ポイント増加し、全国平均の81.8%より高い水準となっています。

●下水道普及率…どのくらいの割合の人が下水道を利用できるかを表す値で、下水道の供用開始区域内人口を住民基本台帳人口で割って求める。下水道を実際に利用している人の割合ではない。

### 下水道普及率の推移

資料：国土交通省「下水道処理人口普及率」、県下水道マネジメント課「下水道普及率」





## ごみ排出量

### 長期的なごみ排出量は減少傾向



2023 (R5) 年度のごみ排出量は40万5,074tで、前年度と比較して11,914t減少し、1人1日当たりごみ排出量は841gで、前年度から20g減少しました。

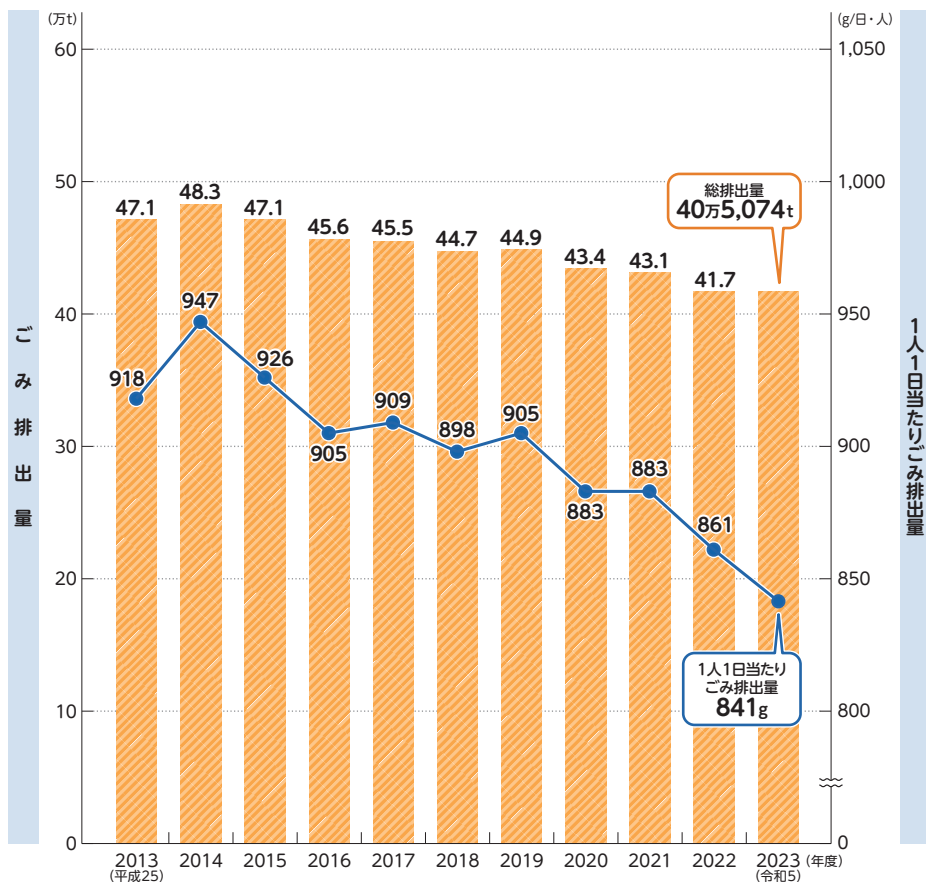
長期的にみると、ごみ排出量は減少傾向にあり、2013(H25)年度の47万501tから6万5,427t(13.9%)減少しました。

1人1日当たりごみ排出量も2013(H25)年度の918gから77g(8.4%)減少しました。

### ごみ排出量の推移

資料：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

■ ごみ総排出量    ● 1人1日当たりごみ排出量(g/日・人)(右目盛)





# ごみのリサイクル率

## ごみのリサイクル率 15.7%



2023(R5)年度のごみのリサイクル率は15.7%で前年度と変わらず横ばいで推移し、資源化量は6万3,559tで、前年度から2,592t減少しました。

ごみのリサイクル率は、2013(H25)年度の13.1%から、2017(H29)年度の16.3%まで増加しましたが、2023(R5)年度は15.7%となり、近年はほぼ横ばいで推移しています。

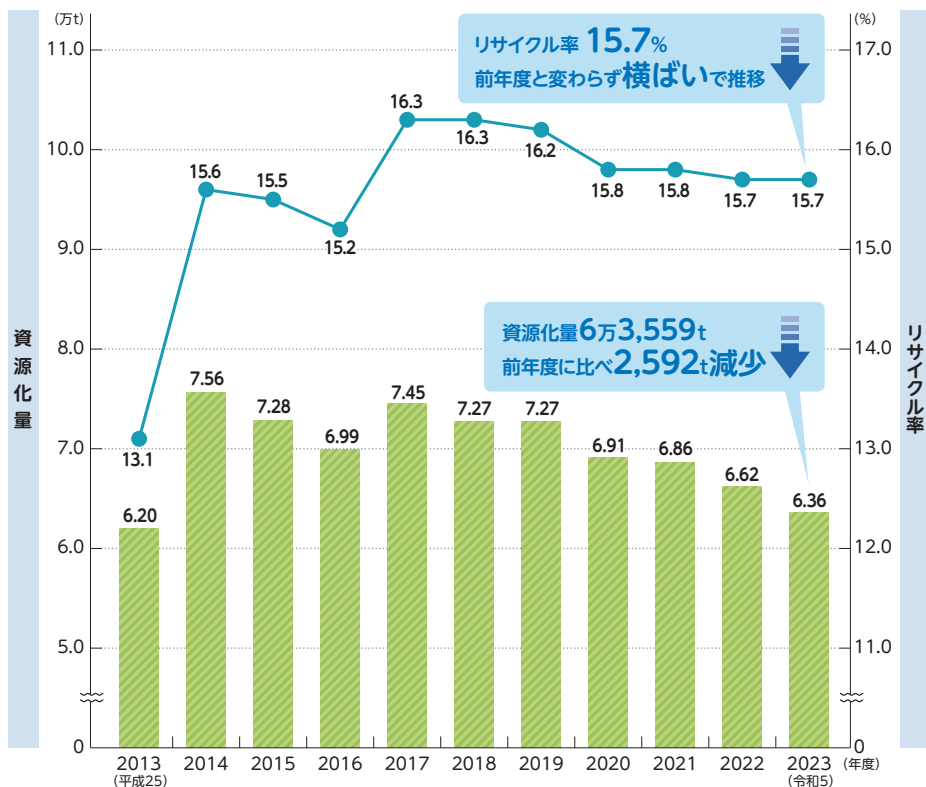
資源化量は、2013(H25)年度の6万1,963tから、2014(H26)年度の7万5,634tまで増加しましたが、2023(R5)年度は6万3,559tとなり、前年度と比較して2,592t減少しました。

●ごみのリサイクル率... 
$$\frac{(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量})}{(\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量})}$$

## ごみのリサイクル率と資源化量の推移

資料：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

■ 資源化量    ● リサイクル率(右目盛)





# 最終エネルギー消費量

## 1人当たりの最終エネルギー消費量は 全国で2番目に少ない



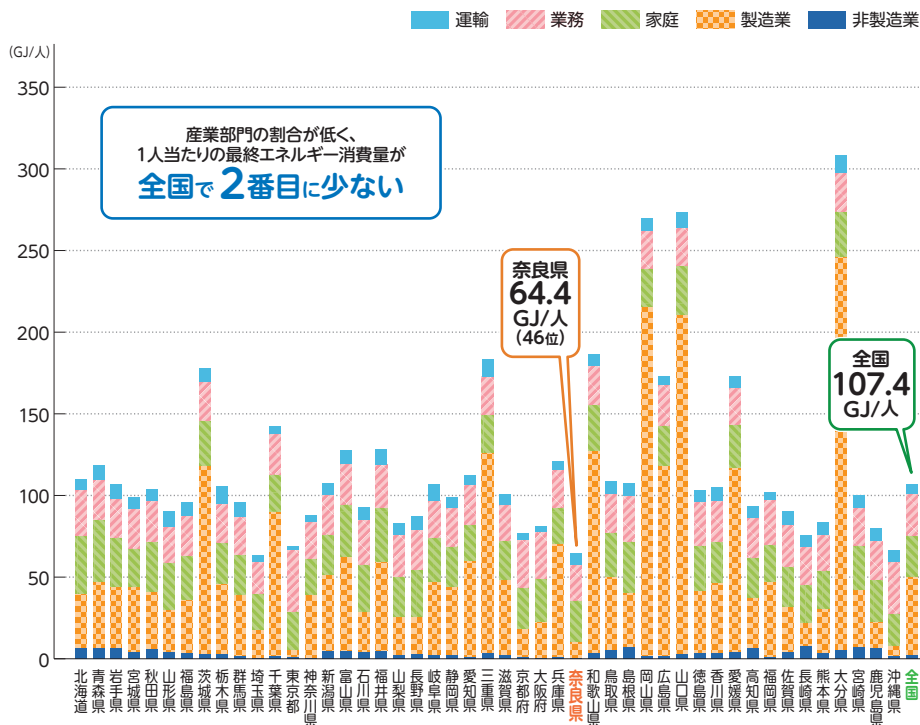
本県における最終エネルギー消費量は8万5,296TJで、全国で7番目に少ない都道府県となっています。1人当たりの最終エネルギー消費量は、64.4GJと全国で2番目に少ない都道府県となっています。

大規模なコンビニートや工場が多く立地し、産業部門の割合が高い瀬戸内海沿岸の県最終エネルギー消費量は高くなっています。

- 最終エネルギー消費量…工場やオフィス、運搬や家庭で実際に消費されたエネルギー量。
- G J (ギガジュール) …仕事量、熱量及び電力量の単位、ジュールの $10^9$ 倍。
- T J (テラジュール) …仕事量、熱量及び電力量の単位、ジュールの $10^{12}$ 倍。  
(1ジュール=約0.24カロリー)。

## 1人当たりの全国業種別最終エネルギー消費 (2022 (R4) 年度)

資料：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」





## 再生可能エネルギーの導入実績

### 2024(R6)年度末の再生可能エネルギーの導入実績は 対2014(H26)年度比で3.0倍まで増加



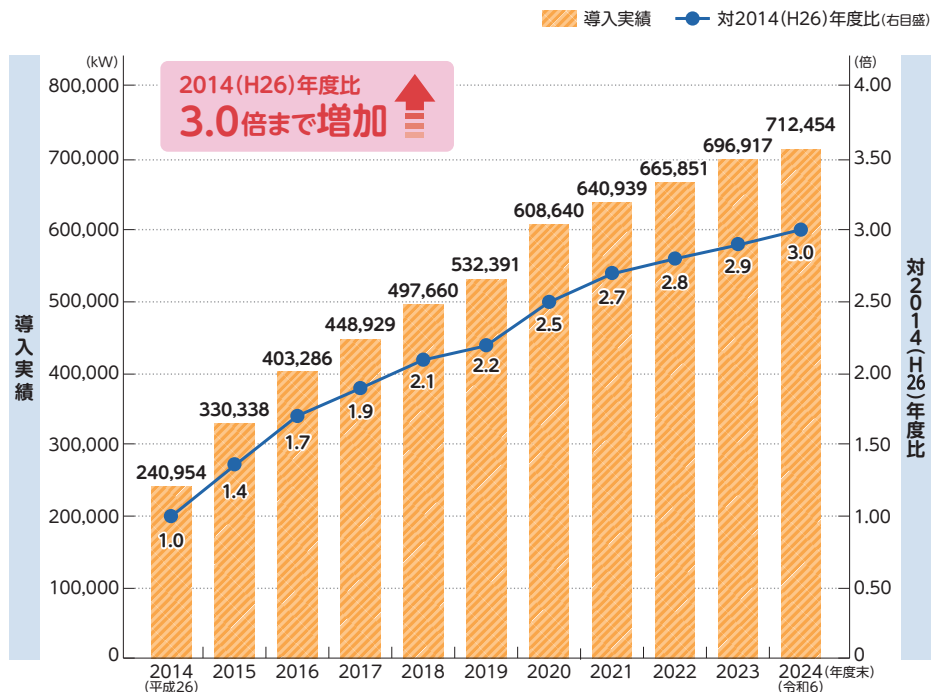
本県の再生可能エネルギーの導入実績は、2024(R6)年度末で71万2,454kW  
(対2014(H26)年度比3.0倍)で、増加傾向です。

2024(R6)年度末における再生可能エネルギーの導入実績の内訳は、太陽光発電が94.7%、バイオマス発電2.8%、水力発電2.5%の順になっており、本県では太陽光発電が大半を占めています。

- 再生可能エネルギー…「エネルギー源として持続的に利用することができると認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスと規定。
- 水 力 発 電…今まで未利用であった河川や農業用水路、上下水道施設等での流水と落差を用いて、水車を回して発電するもの。
- バ イ オ マ ス 発 電…間伐材、食品残さ、家畜糞尿などの生物体(バイオマス)を用いて発電するもの。

### 奈良県内の再生可能エネルギー導入実績の推移

資料：資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」





# 太陽光発電の市町村別導入実績は、奈良市が最大



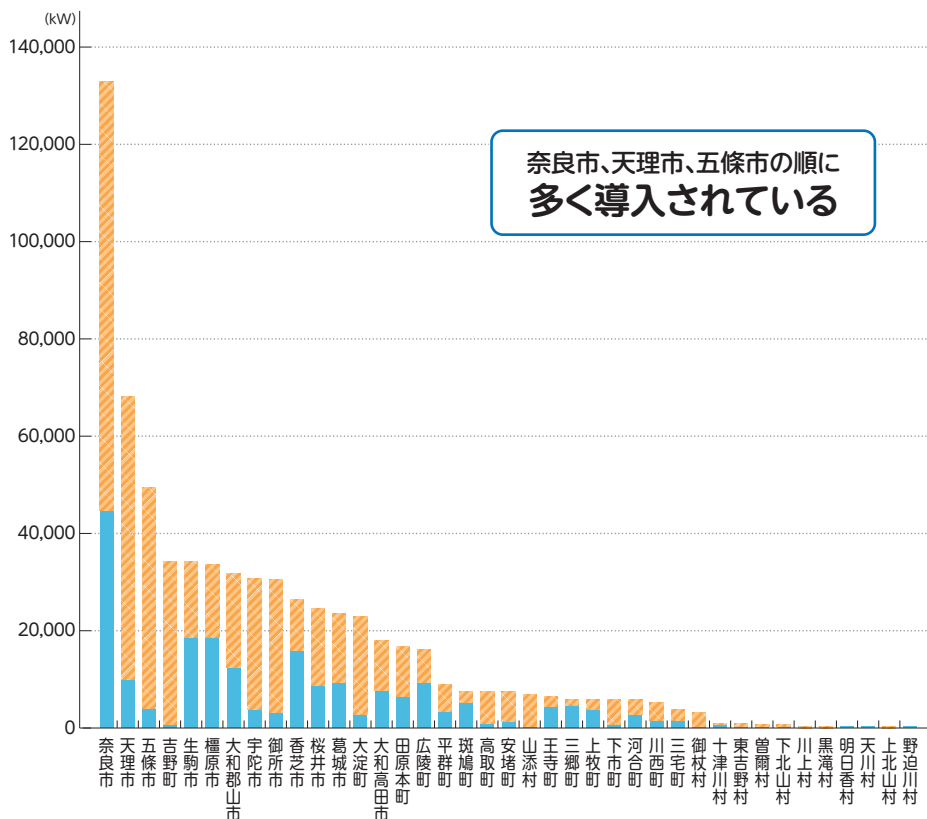
2025 (R7) 年3月末時点の太陽光発電の市町村別導入実績は、奈良市が最大で13万2,840kW、次いで天理市6万7,891kW、五條市4万9,458kWの順になっています。

- **固定価格買取 (FIT) 制度**…再生可能エネルギーで発電された電気を、地域の電力会社 (関西電力送配電 (株) 等) が一定価格で買い取ることを国が保証する制度。太陽光発電の場合、10kW未満 (家庭用) の場合は10年間余剰電力を買い取り、10kW以上の場合 は20年間全量買取される。
- **太陽光発電**…太陽の光エネルギーを直接電気に変換。エネルギー源が太陽光であるため、設置する地域に制限がなく、導入しやすいシステム。送電設備のない場所の電源や災害時などの非常用電源としても活用できる。

## 固定価格買取制度による太陽光発電の市町村別導入実績 (2025 (R7) 年3月末)

資料：資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」

10kW未満 10kW以上





## 奈良県の気候の変化

### 激しい雨と猛暑日が増加傾向



2024(R6)年の猛暑日の日数は47日で、前年から19日増加しました。

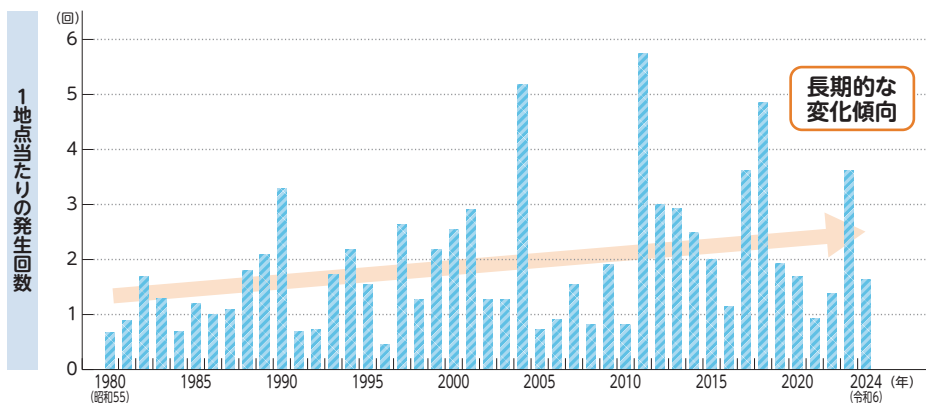
奈良県内のアメダスで1時間に30mm以上の激しい雨を観測した年間回数が増加傾向にあります。また、猛暑日の日数は、1990年代以降特に多くなっており、2024(R6)年は47日でした。

●アメダス…局地的気象を観測し、集中豪雨・豪雪・突風などの発生を監視するシステム。

●猛暑日…最高気温が35℃以上の日。

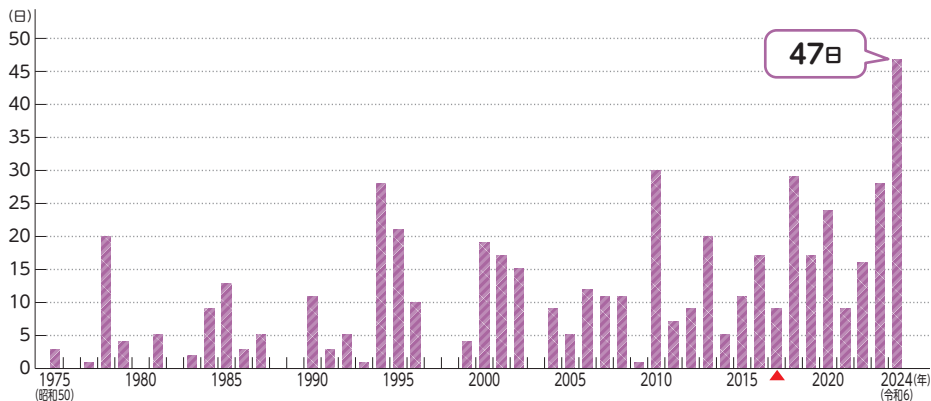
#### 1時間に30mm以上の降水量を観測した年間回数(奈良県)

資料：奈良地方気象台



#### 猛暑日の年間日数(奈良)

資料：奈良地方気象台



※ ▲は観測場所の移転を示す。